

# 公益財団法人身体教育医学研究所

## 平成 26 年度事業報告

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

### I. 法人の概況

#### 1. 設立年月日

平成 11 年 (1999 年) 5 月 15 日 研究所開所 (社会福祉法人みまき福祉会内)

平成 21 年 (2009 年) 2 月 2 日 一般財団法人設立

平成 23 年 (2011 年) 3 月 22 日 公益財団法人認定 (長野県)

#### 2. 定款に定める目的 (定款第 3 条)

この法人は、身体に関わる様々な事象について、従来の保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野を総合させた調査研究・分析評価・教育啓発活動を行い、「からだを育む」ことを通した全ての人々の健康づくりと公共政策づくりに寄与することを目的とする。

#### 3. 定款に定める事業内容 (定款第 4 条)

定款第 4 条に定める事業区分	公益認定に伴う公益目的事業の区分
(1) 身体教育医学に関する調査研究	(公 1) 身体教育医学に関する調査研究事業
(2) 調査研究事業、 健康づくり事業等の受託及び協力	
(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣	(公 2) 健康づくりに関する事業受託、講演会・教室 への講師派遣、相談指導等の教育啓発事業
(4) 健康づくりに関する相談及び指導	
(5) 講演会、講習会、研究会等の開催	(公 3) 法人主催の研修会、出版物の発刊、収集した 文献の一般公開等による情報発信事業
(6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行	
(7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧	
(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	※内容により (公 1) ~ (公 3) のいずれかに該当

#### 4. 所管官庁に関する事項

長野県 総務部 情報公開・私学課

#### 5. 主たる事務所の状況

長野県東御市布下 6 番地 1 ケアポートみまき内

#### 6. 職員に関する事項 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

職員数 (臨職数)		前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男子	3 名 (0)	0 名	38.3 歳	9.7 年
女子	5 名 (3)	0 名	35.2 歳	6.2 年
合計または平均		0 名	36.8 歳	7.9 年

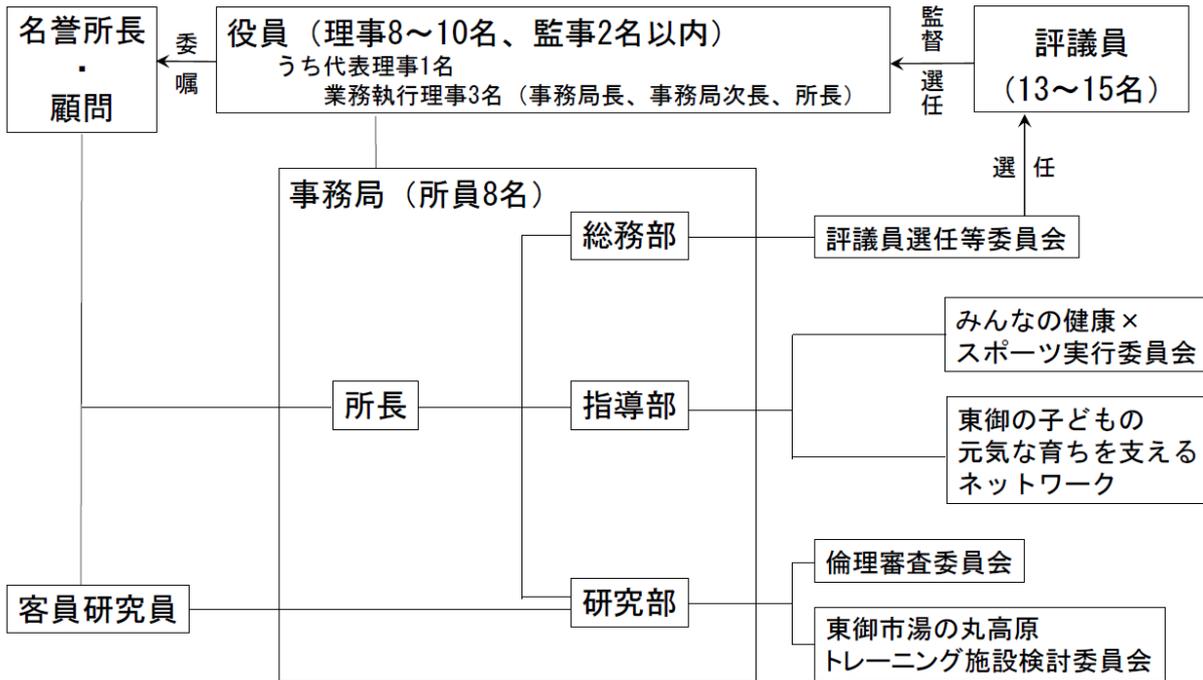
## 7. 名誉所長、顧問、客員研究員に関する事項

役 職	氏 名	常勤・非常勤	現 職
名誉所長	武藤 芳照	非常勤	学校法人日本体育大学日体大総合研究所長
顧問	太田 美穂	非常勤	NPO 法人水と健康スポーツ医学研究所理事長
顧問	木村 貞治	非常勤	信州大学医学部保健学科教授
顧問	中西 和仁	非常勤	中西耳鼻咽喉科院長
客員研究員	加藤 美絵	非常勤	元身体教育医学研究所研究員
客員研究員	鎌田 真光	非常勤	日本学術振興会特別研究員、ハーバード大学医科大学院・公衆衛生学
客員研究員	小松 泰喜	非常勤	東京工科大学医療保健学部教授
客員研究員	高橋 亮輔	非常勤	日本大学理工学部准教授
客員研究員	朴 眩泰	非常勤	韓国・東亜大学医学生命工学学科教授

## 8. 役員等に関する事項

役 職	氏 名	常勤・非常勤	現 職
評議員	青木 周次	非常勤	東御市議会議員
評議員	飯島 裕一	非常勤	信濃毎日新聞社編集委員
評議員	石和 大	非常勤	長野県議会議員
評議員	牛山 廣司	非常勤	東御市教育長
評議員	倉澤 隆平	非常勤	社会福祉法人みまき福祉会理事長
評議員	小林 妙子	非常勤	社会福祉法人みまき福祉会理事
評議員	小林 峯雄	非常勤	社会福祉法人東御市社会福祉協議会長
評議員	小林 亮二	非常勤	(株)信州東御市振興公社専務取締役
評議員	齊藤 つち子	非常勤	東御市保健補導員会OB会代表
評議員	茅野 隆徳	非常勤	社会福祉法人ちいさがた福祉会施設長
評議員	鶴田 武夫	非常勤	NPO 法人東御市体育協会会長
評議員	古川 雅文	非常勤	長野県上田保健福祉事務所副所長
評議員	堀内 ふき	非常勤	佐久大学看護学部長
評議員	満木 大	非常勤	東御市工業振興会理事長
評議員	結城 敬	非常勤	東御市民病院院長
代表理事	田丸 基廣	非常勤	東御市副市長
業務執行理事 (事務局長)	武舎 和博	非常勤	東御市健康福祉部長
業務執行理事 (事務局次長)	竹重 和夫	非常勤	社会福祉法人みまき福祉会常務理事
業務執行理事 (所長)	岡田 真平	常勤	公益財団法人身体教育医学研究所長
理事	奥泉 宏康	非常勤	東御市立みまき温泉診療所長
理事	上岡 洋晴	非常勤	東京農業大学地域環境学部教授
理事	北湯口 純	非常勤	身体教育医学研究所うなん主任研究員
理事	久堀 周治郎	非常勤	東御市民病院顧問
理事	三溝 和子	非常勤	東御市スポーツ推進委員
理事	中村 崇	非常勤	NPO 法人佐久平総合リハビリセンター副理事長
監事	竹内 春彦	非常勤	東御市代表監査委員
監事	柳澤 旨賢	非常勤	東御市議会議員・監査委員

## 9. 組織図



## II. 事業の状況

### 1. 事業の実施状況

平成26年度は、平成24年度から27年度までを実施期間とする中期計画3年目の取り組みとして、中期計画に掲げた基本理念と目的に沿って、当年度の重点課題を定め、うえて各種事業に取り組んだ。

#### ～中期計画の基本理念と目的～

#### **地域での実践と、世界とのつながりを生かして、“からだを育み、こころを育み、きずなを育む”**

私たちは、保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野にまたがる調査研究・教育啓発・情報発信等の活動を地域で実践し、各活動に関連する幅広いネットワークを生かすことによって、全ての人々の健康づくりと公共政策づくりに寄与し、誰もが「からだを育み、こころを育み、きずなを育み」ながら、地域で暮らし続けることを実現します。

まず要旨として、年度当初の事業計画に記載した以下の重点課題に沿って事業の概況を報告する。

#### <重点課題>

1. 中期計画3年目の取り組みとして、持続可能な体制の基盤整備を具体化する。(法人運営の充実)
2. 事業内容に沿った調査研究活動を精力的に進め、研究成果等の発信を行う。(公1, 3)
3. 理念に沿った地域に貢献する教育啓発活動を行い、研究所の取り組みへの理解を広げる。(公2)

#### ① 重点課題(1)

#### 中期計画3年目の取り組みとして、持続可能な体制の基盤整備を具体化する。(法人運営の充実)

正規職員5名と臨時職員の体制での業務実施体制の充実に向けて、多様な業務を担うための各部門や各所員の役割の明確化を図るとともに、地域との協働による取り組みの推進など、限られた人的体制の中で活動の質を高める仕組みづくりに取り組んできた。研究、実践の両面において、幅広いネットワークの中で連携をコーディネートする業務が重みを増しているが、調査研究事業と教育啓発事業の展開における、当研究所の特性を活かした一つのスタイルとして定着しつつある。

財政基盤の確立に向けた取り組みとして、寄附を含むファンドレイジングの強化はまだ不十分だが、次年度以降の寄附活動の具体化に向けて内部的な検討を継続的に進めてきた。収支全般の状況としては、経常収益39,340,466円の中の事業収益32,062,041円が、前年度対比157%、11,628,744円の増加となったが、これは、シンクタンク機能を生かした受託協力事業収入の大幅な増加が背景であった。一方、経常費用42,798,576円の中の事業費40,848,576円が、前年度対比137%、11,051,365円の増加で収益増分とほぼ同程度の額であり、結果として、その他の収支も含めた当期経常増減額は△3,458,110円となった。これは、前年度までの剰余金7,000,511円を公益活動に充当するという収支相償の考え方からは望ましい数字と言えるが、設立から日の浅い財政基盤の中では、長期的な資金の見通しが立つ財源を確保し、より安定した持続可能な体制を確立していかなければならない。

#### ② 重点課題(2)

#### 事業内容に沿った調査研究活動を精力的に進め、研究成果等の発信を行う。(公1, 3)

平成26年度は、地域の要望に応じたテーマと、研究所が主体的に取り組むテーマとを融合させて、①市の健康課題とその解決方策に関する調査研究、②心の健康づくり事業評価、③地域のソーシャルキャピタル調査、④地域特性を踏まえた社会資源把握と地域ネットワーク活性化の検討(外部資金)、⑤介護予防一次予防・二次予防事業評価分析、⑥介護従事者意識調査、⑦自然体験への子どもの参加における期待と実際の効果に関する調査支援、⑧湯の丸高原高地トレーニング施設誘致関連調査研究など、市の施策に直結する調査研究事業を進めてきた。

調査研究活動のアウトプットとしては、外部資金による調査研究実績2件、第一著者による論文4

件を含む学術論文実績 10 件、学会発表 3 件などの実績を残した。こうした研究実績の積み重ねを生かして、今後はさらに大規模な研究費の獲得や、質の高い研究発表につなげることが必要である。

なお、昨年度開催できなかった「しんたい学会」は今年度、中央公民館を会場に 73 人の地域関係者の参加で開催でき、これまで以上に研究所から地域に向けて研究成果を情報発信する機会となった。その他、他団体との共催事業も含めて、研究所が企画・実施に関わった会の総参加者数は、約 800 人に達した。

### ③ 重点課題（3）

#### 理念に沿った地域に貢献する教育啓発活動を行い、研究所の取り組みへの理解を広げる。（公2）

教育啓発事業の規模を件数及び対象人数で示し、前年度と比較すると、

- ・健康づくり事業は、827 件（前年度 721 件の 115%）、14644 人（同 13602 人の 108%）のいずれも増加
- ・講演会、教室等への講師派遣は、122 件（同 108 件の 113%）、5022 人（同 4051 人の 124%）のいずれも増加
- ・相談及び指導は 136 件（同 139 件の 98%）、2265 人（前年度は部分的な把握のため比較不可能）であり、教育啓発事業全体では 1085 件（同 968 件に対して 112%）、21931 人に関わったことになり、業務量は拡大した。

また、健康づくりに関する相談及び指導に含まれる、

- ・「地域発元気づくり支援金事業（平成 23 年度～25 年度）」をきっかけにスタートした「みんなの健康×スポーツ実行委員会事業」と
- ・「新しい公共の場づくりのためのモデル事業（平成 23 年度、24 年度）」をきっかけにスタートした「東御の子どもの元気な育ちを支えるネットワーク事業」

の 2 つの事業については、いずれも研究所が事業を組み立て、関係機関や地域ボランティア等の積極的な参画を得ての取り組みが定着してきており、法人が主体的に地域に働きかける事業として重要な位置づけになりつつある。これらの事業についても、改めて、市や関連団体から支援の方針も示されつつあり、持続可能な取り組みとしていかに軌道に乗せるかが非常に重要な検討事項である。

## (公1) 身体教育医学に関する調査研究事業

### (1) 身体教育医学に関する調査研究

---

#### 1. 外部資金による調査研究事業

- ① ファイザーヘルスリサーチ振興財団第23回(2014年度)国内共同研究(満39歳以下)「地域特性を踏まえた社会資源把握と地域ネットワーク活性化の検討」:朴相俊、今村晴彦、征矢野あや子、濱野強、上岡洋晴
  - ② 住友生命健康財団2014年度スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム「コミュニティスポーツの普及や定着の程度を測る尺度の作成と応用～高齢者向けの運動プログラムを例にとって～」:重松良祐、大藏倫博、岡田真平、鎌田真光、鈴木玲子
- 

#### 2. 学術論文

- ① Kitayuguchi J, Kamada M, Okada S, Kamioka H, Mutoh Y. Association between musculoskeletal pain and trips or falls in rural Japanese community-dwelling older adults: A cross-sectional study. *Geriatr Gerontol Int*. 2015; 15(1): 54-64.
  - ② Kitayuguchi J, Kamada M, Hamano T, Nabika T, Shiwaku K, Okada S, Kamioka H, Mutoh Y. The association between knee pain and gait speed decline in rural Japanese community-dwelling older adults: 1-year prospective cohort study. *Geriatr Gerontol Int*. 2015; doi: 10.1111/ggi.12432. [Epub ahead of print]
  - ③ Kamioka H, Tsutani K, Maeda M, Hayasaka S, Okuizumi H, Goto Y, Okada S, Kitayuguchi J, Abe T. Assessing the quality of study reports on spa therapy based on randomized controlled trials by the spa therapy checklist (SPAC). *Complement Ther in Clin Pract*. 2014; 20(4): 317-333.
  - ④ Kamioka H, Tsutani K, Yamada M, Park H, Okuizumi H, Tsuruoka K, Honda T, Okada S, Park SJ, Kitayuguchi J, Abe T, Handa S, Oshio T, Mutoh Y. Effectiveness of music therapy: a summary of systematic reviews based on randomized controlled trials of music interventions. *Patient Prefer Adherence*. 2014; 8: 727-754.
  - ⑤ Kamioka H, Tsutani K, Yamada M, Park H, Okuizumi H, Honda T, Okada S, Park SJ, Kitayuguchi J, Handa S, Mutoh Y. Effectiveness of horticultural therapy: A systematic review of randomized controlled trials. *Complement Ther Med*. 2014; 22(5): 930-943.
  - ⑥ Kamioka H, Okada S, Tsutani K, Park H, Okuizumi H, Handa S, Oshio T, Park SJ, Kitayuguchi J, Abe T, Honda T, Mutoh Y. Effectiveness of animal-assisted therapy: A systematic review of randomized controlled trials. *Complement Ther Med*. 2014; 22(2): 371-390.
  - ⑦ 朴相俊, 岡田真平, 永島美典, 征矢野あや子, 堀内ふき, 奥泉宏康, 井原こずえ, 渡邊直樹, 上岡洋晴. 長野県東御市の中年女性のストレス要因、対処法及びソーシャル・サポートに関する探索的研究; 保健補導員を対象としたフォーカスグループインタビュー. 自殺予防と危機介入. 2014; 34(1): 1-11.
  - ⑧ 朴相俊, 渡邊直樹, Erminia Colluci, 田口学, 瀧澤透, 岡田真平, 梅田陽子. 地域高齢者が日常で感じる「安心要因, 不安要因及び解決法」に関する探索的研究～自殺の多い北東北地方の高自殺率地区高齢者への訪問調査から～. 身体教育医学研究. 2014; 15(1): 7-14.
  - ⑨ 岡田真平, 半田秀一, 大塩琢也. 転倒を防ぐ身体づくり②. 介護専門職の情報誌おはよう 21. 2014; 7: 52-55. (査読なし)
  - ⑩ 岡田真平. 【巻頭言】エビデンスと地域性を融合したガイドライン作成・普及の試み. 運動疫学研究. 2014; 16(2): 70. (査読なし)
- 

#### 3. 学会発表

- ① Park SJ, Soyano A, Imamura H, Okada S, Nagashima M, Horiuchi H. Effects of a gatekeeper training for suicide prevention in changing of social capital and self-efficacy of participant. 15TH INTERNATIONAL MENTAL HEALTH
-

CONFERENCE, Gold Coast., Australia, August 25-27, 2014.

- ② 朴相俊, 今村晴彦, 征矢野あや子, 岡田真平, 永島美典, 堀内ふき. ゲートキーパー教育が参加者の自殺予防化活動への意識、態度、行動に与える影響について－Focus Group Interview 法を用いた質的研究－. 第 38 回日本自殺予防学会, 北九州, 9 月 11 日-13 日, 2014.
- ③ 岡田真平. 転倒予防運動を軸とした地域介入の効果と課題. 日本転倒予防学会第 1 回学術集会パネルディスカッション「転倒予防のための運動介入の効果と課題」, 東京, 10 月 5 日, 2014.

## (2) 調査研究事業の受託及び協力

### 1. 調査研究事業

- ① 東御市健康増進係「市の健康課題とその解決策に関する調査研究事業」: 岡田真平
- ② 東御市保健係「心の健康づくり事業評価」「地域のソーシャルキャピタル調査」: 朴相俊
- ③ 東御市地域包括支援係「介護予防評価分析事業」「介護従事者意識調査評価分析事業」: 岡田真平
- ④ 東御市地域包括支援係「一次予防事業評価分析事業」: 朴相俊
- ⑤ 東御市企画政策係「湯の丸高原高地トレーニング施設誘致関連業務」: 岡田真平
- ⑥ 茅野市「地区運動教室事業参加者データ分析業務」: 岡田真平
- ⑦ 医療法人アレックス「データセンターデータ分析・研究推進」支援: 朴相俊
- ⑧ 東京農業大学卒業研究「自然体験への子どもの参加における期待と実際の効果について」支援: 渡邊真也

## (公2) 健康づくりに関する事業受託、講演会・教室への講師派遣、相談指導等の教育啓発事業

### (2) 健康づくり事業等の受託及び協力

#### 2. 健康づくり事業等

	件数	のべ人数
	計 827 件	計 14644 人
① 東御市健康保健課健康増進係		
1) 運動教室等指導 (集団)	26	650
2) 運動教室等指導 (個別)	23	23
3) 特定保健指導 (積極的支援)	6	6
4) 特定保健指導 (動機づけ支援)	234	234
5) キホンの運動教室	8	53
6) 健康づくり事業 (県元気づくり支援金事業) 「ポールを使った歩き方講座」	8	119
② 東御市健康保健課保健係		
1) 心の健康づくり事業 (ワークショップ、スクール、フォローアップ)	18	281
2) 精神保健講演会	1	30
3) 精神保健実務会議	3	21
③ 東御市福祉課高齢者係		
1) 二次予防事業対象者把握事業 (健脚度測定)	13	194
2) 介護予防指導員派遣事業	62	1545
3) 介護支援ボランティア育成事業	25	287
④ 東御市福祉課福祉援護係		
1) 障がい児プール運動あそび教室	10	118
⑤ 東御市子育て支援課保育係		
1) 運動あそび事業	77	4620
2) 運動あそび専門保育士部会	13	91
⑥ 東御市子育て支援課子育て支援係		
1) わんぱくお散歩	2	80
2) 親子運動遊び	2	120
3) 子育てしやすい地域づくり事業「子育て講習会」	2	70

4) 子育てシンポジウム	1	50
⑦ 東御市同和人権政策課人権啓発センター		
1) 地域交流事業(柵津・加沢・北御牧)	35	195
⑧ 東御市生涯学習課生涯学習係		
1) 高齢者大学	1	32
2) 生涯学習ウォーキング	10	147
3) チャレンジデー	1	200
4) 早期発達支援事業	1	11
5) 東御市体力測定	1	9
6) 女性学級	1	16
7) 東御市民大学講演会	1	40
8) とうみ未来塾	1	25
⑨ 東御市立みまき温泉診療所		
1) リハビリテーション指導助手	22	175
⑩ (福)みまき福祉会		
1) 介護予防センターみまきでの運動指導(委託元:東御市高齢者係)	12	175
2) 職員のメンタルヘルス研修会	1	40
3) ケアポートみまき総合相談事業	随時対応	
⑪ (福)東御市社協		
1) 介護予防センターゆうふるでの運動指導事業 (委託元:東御市高齢者係)	36	313
⑫ 立科町		
1) 通所型・いきがい型介護予防事業(あした塾)	20	116
2) はつらつ健康講座	11	131
3) はつらつウォーキング教室	10	210
4) 健康サポーター養成講座	3	33
5) 積極的支援特定保健指導「プレミアム」	2	4
6) 特定保健指導「ちょい得」	2	4
7) 町立保育園運動あそび業務	31	1355
8) 親子体操	1	14
9) 温泉ゆったり健康教室	12	298
10) ダイエット教室	5	35
11) 筋力アップ教室「たのきん教室」	3	130
12) ひまわりの会	1	5
13) ゲートキーパー研修	1	14
⑬ 御代田町		
1) 介護予防教室	3	300
2) 健脚度測定	15	226
⑭ 上田市		
1) ゲートキーパー育成事業	6	308
⑮ 富山県入善町		
1) 介護予防事業支援	1	150
2) 地域運動指導リーダー養成事業	1	29
3) こころの健康講座	1	100
⑯ 島根県邑南町		
1) ゲートキーパーフォロー研修	1	150
2) 自殺対策評価委員会	1	10
3) 子育て関連研修	1	30
4) 心の健康講座	1	100

⑰ JA 長野健康保険組合		
1) 管理職・職員メンタルヘルス研修 (県内 6 地区他)	8	525
⑱ その他		
1) 東御市田楽平区健康サロン	23	147
2) 東御市北御牧地区友遊クラブ (みまきっ子体験クラブ)	6	250

<b>(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣</b>	<b>計 122 件</b>	<b>計 5022 人</b>
1. 授業講師		
① 長野大学非常勤講師 (前期)「地域ケア論」(岡田真平他)	15	150
② 佐久大学非常勤講師 (通年)「運動と健康」(朴相俊)	25	1725
③ 豊野高等専修学校 「ソーシャル・スキル」(朴相俊)	11	275
④ 長野救命医療専門学校 (後期)「運動学」(朴相俊)	15	180
2. 講演会、健康づくり教室講師：依頼に応じて随時対応 (別表)	56	2692

<b>(4) 健康づくりに関する相談及び指導</b>	<b>計 136 件</b>	<b>計 2265 人</b>
1. 研究所独自の相談窓口	51	51
2. みんなの健康×スポーツ実行委員会事業 「わくわくスポーツクラブ」(ポッチャ教室)	9	228
3. 東御の子どもの元気な育ちを支えるネットワーク事業		
里山探検活動「キラキラ」(2-3 歳児の親子活動)	18	540
里山探検活動「ドキドキ」(年中から小 1 の子ども活動)	20	336
里山事業説明会	7	135
次年度ミーティング	2	20
ボランティア研修会 (幼児救急法講習、リスクマネジメント基礎講習会)	2	17
モデル小学校支援 (田中小学校)	27	938

**(公 3) 法人主催の研修会、出版物の発刊、収集した文献の一般公開等による情報発信事業**

<b>(5) 講演会、講習会、研究会等の開催</b>	<b>約 800 人</b>
1. 温泉アクティブセンター成田真由美さん交流会 (みまき福祉会と共催)	約 100 人、8/30 開催
2. 東御市水泳大会成田真由美さん模範泳法デモ (東御市体育協会と共催)	約 120 人、8/30 開催
3. 成田真由美さんふれあいトークショー (高地施設誘致市民会議と共催)	80 人、8/30 開催
4. 東御市総合体育大会ダブルダッチデモ&体験会 (東御市体育協会と共催)	316 人、10/5 開催
5. スポレク祭 2014 スケート祭アイススレッジ体験 (上小広域連合と共催)	40 組、1/10 開催
6. ユニバーサルスポーツ講習会 (東御市体育協会と共催)	37 人、1/24 開催
7. 「しんたい学会 (学び合う会)」(研究所主催)	73 人、1/29 開催

<b>(6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行</b>	<b>なし</b>
----------------------------------	-----------

<b>(7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧</b>	
1. 研究所図書室の充実	図書 1771 冊、雑誌 401 冊

<b>(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業</b>	
1. 各種団体役員等	
① 一般財団法人運動器の 10 年・日本協会理事 (岡田真平)	
② 社会福祉法人みまき福祉会理事 (岡田真平)	
③ 身体教育医学研究所うなん運営委員 (岡田真平)	
④ NPO 法人日本健康運動指導士会長野県支部副支部長 (岡田真平)	
⑤ 学校法人日本体育大学日体大総合研究所客員研究員 (岡田真平)	
⑥ 独立行政法人国立健康・栄養研究所健康増進部協力研究員 (岡田真平)	

- ⑦ 日本転倒予防学会総務担当理事（岡田真平）
- ⑧ 信州公衆衛生学会編集委員（岡田真平）
- ⑨ 日本運動疫学会編集委員・プロジェクト研究委員（岡田真平）
- ⑩ 一般財団法人浅間山麓スポーツ医学研究所幹事（岡田真平）
- ⑪ 東御市湯の丸高原高地トレーニング施設検討委員会作業部会長（岡田真平）
- ⑫ 長野県版運動支援ボランティア養成講座テキスト作成委員会委員長（岡田真平）
- ⑬ 公益財団法人健康・体力づくり事業財団・指導者養成カリキュラム検討委員（岡田真平）
- ⑭ 公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団・ワークショップ世話人（朴相俊）
- ⑮ 日本行動療法学会認定行動療法士（朴相俊）
- ⑯ 東御の子どもの元気な育ちを支えるネットワーク協議体委員（岡田真平・朴相俊・渡邊真也）
- ⑰ 北御牧地区友遊クラブ「みまきっ子体験クラブ」実行委員（渡邊真也・大須賀裕美）
- ⑱ 東信地区障害者スポーツ指導員協議会監事（岡田佳澄）
- ⑲ みんなの健康×スポーツ実行委員（岡田真平・岡田佳澄）

## 2. 書籍・新聞・雑誌等への掲載、メディアへの出演

- ① からだの異変予防 運動の質と量 適切に（読売新聞、2014. 5. 14）
- ② バンザイ苦手 現代っ子たち 運動不足でからだ異変（東京新聞、2014. 6. 22）
- ③ 東御・湯の丸へのプール誘致 推進へ市民会議発足（信濃毎日新聞、2014. 7. 2）
- ④ 東京五輪「特需」に熱視線 地方自治体動く（日刊工業新聞、2014. 7. 21）
- ⑤ 「ぬ・か・づけ」に注意（山陰中央新報、2014. 7. 23）
- ⑥ ずくだすポイントキャンペーン実施中（市報とうみ 2014 年 8 月号）
- ⑦ パラリンピック「金」成田さん 東御の大会で泳ぎ披露（信濃毎日新聞、2014. 8. 9）
- ⑧ パラリンピック金メダリスト成田真由美さんが来訪しました（ケアポートみまき広報 No. 021）
- ⑨ パラリンピックで金 成田さんも参加 東御で水泳大会（信濃毎日新聞、2014. 9. 2）
- ⑩ 東御市から盛り上げよう！2020 東京オリンピック・パラリンピック（市報とうみ 2014 年 9 月号）
- ⑪ パラリンピック競泳金メダリスト 成田さん誘致への思い語る（東信ジャーナル、2014. 9. 13）
- ⑫ 人と人の絆、社会のつながりがもたらす力の大きさを感じて（信濃の国保 2014 年 9 月号）
- ⑬ 温故知新「財団助成研究…その後」（ファイザーヘルス財団ヘルスリサーチニュース vol. 64）
- ⑭ 縄 2 本で縄跳び「ダブルダッチ」挑戦しよう（信濃毎日新聞、2014. 10. 3）
- ⑮ 丸子福祉会きらり訪問（上田六文銭ロータリークラブ会報 2014. 10. 7）
- ⑯ まるこ福祉会にスポーツ用品寄贈（東信ジャーナル、2014. 10. 9）
- ⑰ ロープ 2 本の縄跳びに挑戦 ダブルダッチ 東御で体験会（東信ジャーナル、2014. 10. 18）
- ⑱ 狙って一投ポッチャ 交流大会に 60 人参加（松本タウン情報、2014. 10. 28）
- ⑲ みんなで楽しくジャンプ！ダブルダッチデモ&体験会開催（市報とうみ 2014 年 11 月号）
- ⑳ 官民協働で「運動しやすい」環境づくりを推進し、運動の日常生活化を図る（健康づくり 2014 年 11 月号）
- ㉑ 第 1 回転倒予防学会学術集会 年間 7,700 件の転倒・転落死を防げ（ナラティブメディア 2014 年 11 月号）
- ㉒ 湯の丸プール建設費 40 億円 検討委計画案（信濃毎日新聞、2014. 11. 4）
- ㉓ 毎日の「運動遊び」本格化 東御市の公立保育園 5 園（東信ジャーナル、2014. 11. 6）
- ㉔ 施設規模など検討委が素案 建設費 40 億円 国に要望へ（東信ジャーナル、2014. 11. 7）
- ㉕ ドミノ骨折を防げ メタボより怖いロコモ 地域介入の効果と課題（夕刊フジ、2014. 11. 7）
- ㉖ ドミノ骨折を防げ メタボより怖いロコモ ディスカッション（夕刊フジ、2014. 11. 14）
- ㉗ 毎朝 15 分遊んで元気に 東御の 5 市立保育園が取り組み（信濃毎日新聞、2014. 11. 15）
- ㉘ ドミノ骨折を防げ メタボより怖いロコモ ディスカッション（夕刊フジ、2014. 11. 21）
- ㉙ 高地プール 県内が最適 水連会長五輪強化で知事に要望（産経新聞、2014. 11. 21）
- ㉚ 高地練習施設建設 知事に要望 日本水泳連盟（中日新聞、2014. 11. 21）
- ㉛ 高地プール 県内に整備要望 日本水連会長が県庁訪問（信濃毎日新聞、2014. 11. 21）
- ㉜ 高地トレーニング用水泳プール施設 鈴木大地会長が要望（長野建設新聞、2014. 11. 21）
- ㉝ 「高地トレーニング用プールを」鈴木大地さん 知事に要望（読売新聞、2014. 11. 22）
- ㉞ 東京五輪へ向けたトレーニングプール 宿泊所は既存施設改修へ（信濃毎日新聞、2014. 12. 6）
- ㉟ 高地トレーニング用プール施設 東御へ誘致 財源課題（信濃毎日新聞、2014. 12. 29）

- ③⑥ 「ボッチャ」に親しんで 東御で指導者育成講習会 (信濃毎日新聞、2015. 1. 27)
- ③⑦ 園児の毎朝 15 分運動に優秀賞 整形外科医らの団体が評価 (信濃毎日新聞、2015. 1. 27)
- ③⑧ 健康づくりへの取り組み学ぼう 東御であす「学会」(信濃毎日新聞、2015. 1. 28)
- ③⑨ 東御で健康づくり考える しんたい学会に 70 人参加 (信濃毎日新聞、2015. 1. 31)
- ④⑩ 互助・共助による子育て支援の充実へ 19 名を子育て支援サポーターに認定 (市報とうみ 2015 年 2 月号)
- ④⑪ 「レッツ 15(いちご)タイム」東御の保育士が優秀賞受賞報告 (信濃毎日新聞、2015. 2. 3)
- ④⑫ 笑いヨガで健康づくり 東御市津高年齢者クラブ女性部 (東信ジャーナル、2015. 2. 3)
- ④⑬ ユニバーサルスポーツ 指導者育成へ 東御で講習会 (東信ジャーナル、2015. 2. 7)
- ④⑭ 「運動器の 10 年・日本賞」で東御の保育士部会 運動遊びの取り組み優秀賞 (東信ジャーナル、2015. 2. 7)
- ④⑮ ゲートキーパー養成 120 人に 自殺防止へ活動 (信濃毎日新聞、2015. 2. 11)
- ④⑯ 「子どもの育ちなど報告」健康的な暮らしへ「しんたい学会」 (東信ジャーナル、2015. 2. 19)
- ④⑰ 信州型コミュニティーで健康づくり (信濃毎日新聞別冊とわいえ健康新聞、2015. 2. 22)
- ④⑱ 平成 26 年度「運動器の 10 年・日本賞」が決定しました! (Moving 春号、2015. 3. 1)
- ④⑲ レッツ 15 タイムで「運動遊び」の定着を! (市報とうみ 2015 年 3 月号)
- ⑤⑩ 高齢者クラブ連合会女性部太極拳風リズム体操で健康づくり (市報とうみ 2015 年 3 月号)
- ⑤⑪ しんたい (shin-tai) の「ちょっと耳寄りな話」(市報とうみ、毎月発行、各所員投稿)
- ⑤⑫ 心の健康通信 (JA 長野健保「健保の窓」、季刊誌、4 回シリーズ)
- ⑤⑬ 団塊スタイルつまずき・ふらつきがサイン! 50 代からの転倒予防 (NHK E テレ、2014. 7. 18)
- ⑤⑭ こころのラジオ「COCO らじ」(FM とうみ、毎週水曜日 11:00~12:00)
- ⑤⑮ 情報番組「そよ風にのせて」(FM とうみ、毎月第一火曜日 11:00~12:00)

### 3. 外部関係機関との連携事業

- ① 島根大学塩飽副学長、疾病予知予防研究拠点濱野講師、研究情報交換 (2014. 4. 7-8)
- ② 東京医科大学公衆衛生学分野井上教授、福島助教、研究情報交換 (2014. 5. 16)
- ③ 東邦大学医学部社会医学講座西脇教授、今村助教、研究情報交換 (2014. 5. 23)
- ④ 信州大学・東京工科大学・関係医療機関との地域リハ情報・意見交換 (2014. 6. 18)
- ⑤ 学校法人日本体育大学日体大総合研究所佐藤研究員、野外実習現地視察 (2014. 7. 14)
- ⑥ 筑波大学大蔵研究室と温泉アクティブセンターとの機能評価情報交換 (2014. 7. 17-18)
- ⑦ 東邦大学医学部社会医学講座、研究情報交換・東御市への情報提供 (2014. 8. 7-8)
- ⑧ 国際武道大学インターンシップ 1 名受け入れ (2014. 8. 17-24)
- ⑨ 東京大学野崎ゼミ、中澤ゼミ、東京工科大学小松ゼミ合同合宿受け入れ (2014. 8. 17-18)
- ⑩ 東京農業大学上岡研究室 2 名受け入れ (2014. 8. 19-20)
- ⑪ 株式会社タニタと温泉アクティブセンターとの機能評価情報交換 (2014. 9. 5)
- ⑫ 東京大学体験活動プログラム 2 名受け入れ (2014. 9. 16-25)
- ⑬ 早稲田大学竹中研究室、研究所視察受け入れ (2014. 9. 23)
- ⑭ 筑波大学大蔵研究室と温泉アクティブセンターとの機能評価情報交換 (2014. 10. 8-9)
- ⑮ 早稲田大学竹中教授、市健康づくり講演会受け入れ (2014. 10. 24-25)
- ⑯ 島根県雲南市教育委員会関係者 4 名受け入れ (2014. 10. 30-31)
- ⑰ 学校法人日本体育大学日体大総合研究所佐藤研究員、研究情報交換 (2014. 11. 2)
- ⑱ 白梅学園大学汐見学長、市子育て支援講演会受け入れ (2014. 11. 21)
- ⑲ 三重大学重松准教授他 9 名、研究情報交換 (2014. 11. 22-23)
- ⑳ 首都大学東京星教授他 1 名、研究情報交換 (2014. 11. 26)
- ㉑ 筑波大学インターンシップ 1 名受け入れ (2015. 1. 19-26)
- ㉒ 島根県雲南市身体教育医学研究所うなんん視察 2 名受け入れ (2015. 1. 21-22)
- ㉓ 東京工科大学・JA 厚生連鹿教湯病院リハビリテーション科との情報交換 (2015. 2. 3)
- ㉔ 東京大学中澤研究室関係者 2 名との研究打ち合わせ (2015. 2. 23)
- ㉕ 首都大学東京星教授、市民間介護・福祉事業所連絡会研修会受け入れ (2015. 2. 25)
- ㉖ 独立行政法人国立青少年教育振興機構自然体験活動リスクマネジメント基礎講座受け入れ (2015. 2. 28)
- ㉗ 信州大学木村研究室修士学生研究成果発表 (2015. 3. 9)
- ㉘ 東京大学中澤研究室水中運動研究受け入れ (2015. 3. 16)

※<別表>講演会、健康づくり教室講師の詳細

日付	会場	依頼事業	依頼元	担当
2014/5/11	市内 ケアポートみまき	TEDxパブリックビューイング	TEDxSAKU実行委員会	渡邊
2014/7/14	市内 北御牧公民館2F	たけのご学級	東御市人権同和政策課男女共同参画係	渡邊
2014/7/15	市内 保健センター	滋野地区保健指導委員研修会	滋野地区保健指導委員会	横井
2014/9/15	市内 ふれあい体育館	敬老会	北御牧地区敬老会実行委員会	渡邊
2014/10/1	市内 菓子処花岡	1日会勉強会	1日会	渡邊
2014/11/16	市内 大石公民館	女性のつどい	佐藤千枝議員	横井
2014/11/29	市内 中央公民館	福祉のつどい	東御市社協	佳澄
2014/12/9	市内 保健センター	祢津地区保健指導員	祢津地区保健指導員	朴
2015/1/17	市内 東御市第1体育館	スポーツ指導者研修会	東御市体育協会	岡田
2015/1/24	市内 中央公民館	ユニバーサルスポーツ講習会	東御市体育協会	佳澄
2015/1/24	市内 祢津保育園	参観日講演会	祢津保育園保護者会	渡邊
2015/2/27	市内 コトヒラ工業研修室	管理職員のメンタルヘルス研修A①	(株)コトヒラ工業	朴
2015/3/20	市内 コトヒラ工業研修室	管理職員のメンタルヘルス研修A①	(株)コトヒラ工業	朴
2014/5/8	県内 小諸北佐久医師会館	バイマンスリーセミナー	小諸北佐久医師会	岡田
2014/5/26	県内 東御市中央公民館	上小教育委員研修会	上小市町村教育委員会連絡協議会	岡田
2014/6/21	県内 望月少年自然の家	タイニーキャンプ指導	望月少年自然の家	渡邊
2014/6/22	県内 岸野構造改善センター	ストレッチング講習会・指導者講習会	岸野スポーツクラブ	渡邊
2014/6/23	県内 小諸市保健センター	保健事業検討会	小諸市役所	岡田
2014/6/28-29	県内 長野県総合教育センター	信州外あそびミーティング2014	信州外あそびネットワーク	岡田・渡邊
2014/7/10	県内 小谷村役場b内会議室	こころの健康講座	小谷村役場市民福祉課	朴
2014/7/22	県内 小谷村役場b内会議室	こころの健康講座	小谷村役場市民福祉課	朴
2014/7/24	県内 ペルウィンこころ	保健推進員研修	小諸市健康づくり課	岡田
2014/7/29	県内 小谷村役場b内会議室	こころの健康講座	小谷村役場市民福祉課	朴
2014/8/21	県内 コトヒラ工業本社工場 厚生会館	ラインケア入門	コトヒラ工業株式会社	朴
2014/8/25	県内 小諸市保健センター	保健事業検討会	小諸市役所	岡田
2014/8/31	県内 デイサービスセンターみづき	ふくしのつどい	麻績村社会福祉協議会	岡田
2014/9/2	県内 上田ふれあい福祉センター	いきいき体操	上田視覚障害者協会	佳澄
2014/9/6	県内 朝陽学園幼稚園	地域に根付け元気でたくましい子どもの育ちを支える取り組み	(有)BCF	渡邊
2014/9/17	県内 本社研修室	メンタルヘルス研修会	(株)フォトオフセット協同印刷	朴
2014/10/7	県内 まるこ福祉会「きらり」	夢未来プロジェクト	上田六文銭ロータリークラブ	佳澄
2014/10/29	県内 長門老人福祉センター	はつらつ運動教室	長和町町民福祉課在宅支援係	横井
2014/11/6	県内 旧中川小学校	見本市部会	外あそびネットワーク	渡邊
2014/11/9	県内 豊殿地域自治センター	住民会議講演会	上田市豊殿地区社会福祉協議会	岡田
2014/11/12	県内 和田コミュニティーセンター	はつらつ運動教室	長和町町民福祉課在宅支援係	横井
2014/11/14	県内 小諸文化センター	学社融合フォーラム	東信教育事務所	渡邊
2014/11/18	県内 東御市中央公民館	長野県19市体育担当課長並びに主任者会議	東御市教育委員会	岡田
2014/11/21	県内 上田ふれあい福祉センター	上田市障がい者スポーツ教室	上小障がい者総合支援センター	佳澄
2014/11/22	県内 岩村田商店街	ロコモティブシンドローム啓発事業	MSD株式会社	笹本
2014/11/27	県内 まるこ福祉会「きらり」	夢未来プロジェクト	上田六文銭ロータリークラブ	佳澄
2014/12/5	県内 小諸市保健センター	健康づくり講演会	小諸市第5ブロック保健推進員会	岡田
2014/12/6	県内 上野が丘公民館	JBA公認コーチD級コーチ養成講習会	長野県バスケットボール協会	岡田
2014/12/10	県内 JA中信会館	会員研修会	松本ハイランド農林年金受給者連盟	岡田
2015/1/20	県内 小諸市保健センター	てくてく小諸人講座	小諸市健康づくり課	岡田
2015/1/24	県内 ラ・ベリテ	高体連総会	長野県高校体育連盟	朴
2015/1/28	県内 東信教育事務所	管内市町村スポーツ担当者会議	東信教育事務所	岡田
2015/2/7	県内 佐久平プラザ21	第39回セミナー	NPO法人遺言・成年後見普及センター長野	岡田
2015/2/10	県内 軽井沢町保健複合施設	健康フォーラム講演会	軽井沢町保健センター	岡田
2015/2/21	県内 佐久市総合体育館	スポーツ活動指導者講習会	東信教育事務所	渡邊
2015/3/4	県内 上田市真田中央公民館	上田市真田地域健康推進委員会	上田市真田地域自治センター健康福祉課	朴
2015/3/14	県内 権現山体育センター	立科町スポーツ少年団市町村研修会	立科町教育委員会	渡邊
2015/3/31	県内 長野県医師会館	健康寿命延伸プロジェクト実行委員会	長野県医師会	岡田
2014/6/13	県外 NHK放送センター	運動指導	NHKエデュケーション	渡邊
2014/7/9	県外 ケアポートみまき	ケアポート視察	福島県会津坂下町	岡田
2014/10/18	県外 なかのZERO 西館小ホール	東京都スポーツ推進委員会広域地区別研修会	東京都中野区	佳澄
2014/11/4	県外 ケアポートみまき	ケアポート視察	長崎県雲仙市	岡田
2015/2/6	県外 小瀬スポーツ公園武道館	県支部研修会	日本健康運動指導士会山梨県支部	岡田

## 2. 役員会等に関する事項

### 【理事会、評議員会等】

平成 26 年 6 月 1 日 (日)	<p>第 1 回理事会 (ケアポートみまき：理事 7 名、監事 2 名、事務局 4 名出席)</p> <p>決議事項 第 1 号議案：平成 25 年度事業報告及び決算 第 2 号議案：定時評議員会の招集 第 3 号議案：評議員選任等委員会外部委員の選任 第 4 号議案：評議員選任等委員会への評議員候補者の推薦 第 5 号議案：文部科学省科学研究費助成事業研究実施規程制定 第 6 号議案：就業規則の改正</p> <p>報告事項 前回議事報告、代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告、湯の丸高原高地トレーニング施設誘致活動の経過、身体教育医学研究第 15 巻発刊、ホームページの運営状況、チャレンジデー2014 への協力、その他</p>
6 月 25 日 (土)	<p>第 1 回評議員会 (ケアポートみまき：評議員 12 名、理事 4 名、監事 2 名、事務局 4 名出席)</p> <p>決議事項 第 1 号議案：平成 25 年度事業報告及び決算の承認 第 2 号議案：基本財産の除外 第 3 号議案：理事及び監事の選任</p> <p>報告事項 平成 26 年度の事業計画・予算、湯の丸高原高地トレーニング施設誘致活動の経過、チャレンジデー2014 の協力、身体教育医学研究第 15 巻発刊、ホームページの運営状況、その他</p>
11 月 29 日 (土)	<p>第 2 回理事会 (ケアポートみまき：理事 10 名、監事 2 名、名誉所長 1 名、事務局 3 名、他 1 名出席)</p> <p>決議事項 第 1 号議案：組織規定の制定について 第 2 号議案：平成 26 年度予算の補正について (第 1 次)</p> <p>報告事項 職員紹介、前回議事報告、代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告、平成 26 年度事業中間報告及び上半期決算報告、高地トレーニング施設検討委員会の検討結果、平成 27 年度「地域おこし協力隊」受け入れ、地域と協働した取り組み手法の検討、ホームページの運営状況、その他</p>
平成 27 年 3 月 15 日 (日)	<p>第 3 回理事会 (ケアポートみまき：理事 9 名、監事 2 名、名誉所長 1 名、事務局 4 名、他 2 名)</p> <p>決議事項 第 1 号議案：平成 27 年度事業計画・予算について 第 2 号議案：顧問の推薦について 第 3 号議案：飲食規定の制定について</p> <p>報告事項 前回議事報告、代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告、平成 26 年度事業・会計中間報告、規定の一部改訂に関する事務処理、研究倫理審査委員会報告、第 4 回しんたい学会報告、法人パンフレット作成、ホームページのアクセス状況、その他</p>

### 【代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告】

No.	日程	職務内容	担当理事
1	4 月 01 日 (火)	仕事始め式	田丸・武舎・竹重・岡田
2	4 月 07 日 (月)	研究所うなん運営委員・島根大学塩飽副学長面会	田丸・武舎・竹重・岡田
3	4 月 23 日 (水)	高地トレーニング施設検討委員会関係打合せ	田丸・岡田

4	4月28日(月)	同委員会作業部会後に日本水連、県水連関係者と面会	田丸・岡田
5	5月01日(木)	所内業務ミーティング	田丸・武舎・竹重・岡田
6	5月14日(水)	東方久男顧問公認会計士現地指導立ち会い	竹重・岡田
7	5月16日(金)	東京医科大学井上教授面会	田丸・竹重・岡田
8	5月19日(月)	法人決算監査	武舎・竹重・岡田
9	5月20日(火)	所内業務ミーティング	竹重・岡田
10	5月21日(水)	高地トレーニング施設検討委員会関係打合せ	田丸・岡田
11	5月23日(金)	東邦大学西脇教授・今村助教面会	武舎・竹重・岡田
12	5月27日(火)	業務執行理事会	田丸・武舎・竹重・岡田
13	5月31日(土)	第2回高地トレーニング施設検討委員会	田丸・岡田
14	6月01日(日)	平成26年度第1回理事会	田丸・武舎・竹重・岡田
15	6月09日(月)	東御市議会全員協議会での事業・決算報告	田丸・武舎・竹重・岡田
16	6月20日(金)	所内業務ミーティング	武舎・竹重・岡田
17	6月23日(月)	業務執行理事会	田丸・武舎・竹重・岡田
18	6月25日(水)	平成26年度第1回評議員会	田丸・武舎・竹重・岡田
19	6月30日(月)	高地トレーニング施設検討委員会関係打合せ	田丸・岡田
20	7月20日(日)	高地トレーニング施設誘致市民会議武藤名誉所長来訪	田丸・岡田
21	7月31日(木)	高地トレーニング施設検討委員会関係打合せ	田丸・岡田
22	8月01日(金)	所内業務ミーティング	田丸・武舎・竹重・岡田
23	8月19日(火)	研究打ち合わせ上岡理事来訪	田丸・武舎・竹重・岡田
24	8月30日(土)	バリアフリー市民啓発イベント成田真由美さん来訪	田丸・武舎・竹重・岡田
25	9月01日(月)	所内業務ミーティング	武舎・竹重・岡田
26	9月02日(火)	高地トレーニング施設検討委員会関係打合せ	田丸・岡田
27	9月12日(金)	業務執行理事会	田丸・武舎・竹重・岡田
28	9月25日(木)	東京大学体験活動プログラム活動報告	田丸・武舎・竹重・岡田
29	10月01日(水)	所内業務ミーティング	武舎・竹重・岡田
30	10月07日(火)	日本財団ケアポート事業ヒアリング岩淵氏来訪	田丸・竹重・岡田
31	10月23日(木)	高地トレーニング施設検討委員会関係打合せ	田丸・岡田
32	11月03日(月)	第3回高地トレーニング施設検討委員会	田丸・武舎・岡田
33	11月04日(火)	所内業務ミーティング	武舎・竹重・岡田
34	11月20日(木)	法人セミナー「公益法人の役員等の役割と責任」参加	武舎
35	11月26日(水)	業務執行理事会	田丸・武舎・竹重・岡田
36	11月29日(土)	平成26年度第2回理事会	田丸・武舎・竹重・岡田
37	12月22日(月)	所内業務ミーティング、所忘年会	田丸・武舎・岡田
38	12月26日(金)	所仕事納め式	竹重・岡田
39	1月06日(火)	高地トレーニング施設検討委員会関係打合せ	田丸・岡田
40	1月21日(木)	身体教育医学研究所うなん視察受け入れ	武舎・岡田
41	1月23日(金)	所内業務ミーティング	田丸・武舎・竹重・岡田
42	1月27日(火)	日本体育大学松浪理事長、武藤名誉所長、市長ら面会	田丸・岡田
43	1月29日(木)	しんたい学会	田丸・武舎・竹重・岡田
44	2月02日(月)	客員研究員・東京工科大学小松教授面会	田丸・岡田
45	2月18日(水)	業務執行理事会	田丸・武舎・竹重・岡田
46	2月24日(火)	長野県水連会長・理事長・武藤名誉所長、市長ら面会	田丸・岡田
47	2月26日(木)	所内業務ミーティング	武舎・竹重・岡田
48	3月12日(木)	業務執行理事会	田丸・武舎・竹重・岡田
49	3月15日(日)	平成26年度第2回理事会	田丸・武舎・竹重・岡田
50	3月19日(木)	日本財団フォーラム参加、笹川会長らと面会	武舎・岡田

### 3. 正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

事業年度	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	27年3月期
経常収益計	79,375	31,981,729	33,566,788	28,744,363	39,340,466
経常費用計	56,808	28,103,870	31,901,414	31,335,909	42,798,576
経常増減額	22,567	3,877,859	1,665,374	<b>△2,591,546</b>	<b>△3,458,110</b>
一般正味財産期末残高	3,251,394	7,120,253	9,592,057	7,011,511	3,542,401
資産合計	8,948,027	16,035,713	20,930,992	13,415,109	9,997,932
負債合計	2,057,258	5,508,585	8,164,560	3,414,598	3,011,309
正味財産	6,890,769	10,527,128	12,766,432	10,000,511	6,986,623

### Ⅲ. 法人の課題

Ⅱの中で触れた事業の概況において課題も併せて記載しており、内容を省略する。

# 決 算 報 告 書

第 8 期

自 平成26年 4月 1日  
至 平成27年 3月 31日

公益財団法人 身体教育医学研究所

## 貸借対照表

公益財団法人身体教育医学研究所

平成27年 3月31日現在 (単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
〔 資 産 の 部 〕			
【 流 動 資 産 】			
現 金 預 金	2,810,171	948,914	1,861,257
未 収 金	2,877,915	8,272,237	△ 5,394,322
流 動 資 産 合 計	5,688,086	9,221,151	△ 3,533,065
【 固 定 資 産 】			
( 基 本 財 産 )			
定 期 預 金	0	3,000,000	△ 3,000,000
基 本 財 産 合 計	0	3,000,000	△ 3,000,000
( 特 定 資 産 )			
公益目的事業積立資金	3,000,000	0	3,000,000
特 定 資 産 合 計	3,000,000	0	3,000,000
(その他固定資産)			
車 両 運 搬 具	1	1	0
什 器 備 品	797,133	886,591	△ 89,458
ソ フ ト ウ ェ ア	307,800	0	307,800
権 利	204,912	307,366	△ 102,454
その他固定資産合計	1,309,846	1,193,958	115,888
固 定 資 産 合 計	4,309,846	4,193,958	115,888
資 産 合 計	9,997,932	13,415,109	△ 3,417,177
〔 負 債 の 部 〕			
【 流 動 負 債 】			
未 払 金	2,700,505	3,055,474	△ 354,969
預 り 金	310,804	359,124	△ 48,320
流 動 負 債 合 計	3,011,309	3,414,598	△ 403,289
負 債 合 計	3,011,309	3,414,598	△ 403,289
〔 正 味 財 産 の 部 〕			
【 指 定 正 味 財 産 】			
民 間 助 成 金	444,222	0	444,222
寄 付 金	3,000,000	3,000,000	0
指 定 正 味 財 産 合 計	3,444,222	3,000,000	444,222
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 3,000,000)	(△ 3,000,000)
(うち特定資産への充当額)	( 3,000,000)	( 0)	( 3,000,000)
【 一 般 正 味 財 産 】	3,542,401	7,000,511	△ 3,458,110
正 味 財 産 合 計	6,986,623	10,000,511	△ 3,013,888
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	9,997,932	13,415,109	△ 3,417,177

# 平成26年度正味財産増減計算書

公益財団法人身体教育医学研究所

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで (単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益		750	△ 750
事業収益	32,062,041	20,433,297	11,628,744
調査研究事業収益	1,249,530	6,024,980	△ 4,775,450
受託協力事業収益	24,469,380	7,729,819	16,739,561
講師派遣事業収益	5,984,865	5,532,925	451,940
出版物用発刊事業収益	144,068	908,016	△ 763,948
その他事業収益	214,198	237,557	△ 23,359
受取補助金等	7,205,778	7,168,375	37,403
受取地方公共団体補助金	6,500,000	6,824,000	△ 324,000
受取民間補助金	150,000	150,000	0
受取民間助成金		20,000	△ 20,000
受取補助金等振替額	555,778	174,375	381,403
受取寄付金	71,000	1,141,000	△ 1,070,000
寄付金収益	71,000	1,141,000	△ 1,070,000
雑収益	1,647	941	706
受取利息	1,647	941	706
<b>経常収益計</b>	<b>39,340,466</b>	<b>28,744,363</b>	<b>10,596,103</b>
(2) 経常費用			
事業費	40,848,576	29,797,211	11,051,365
給料手当	16,975,727	15,662,581	1,313,146
臨時雇賃金	2,290,104	1,880,833	409,271
退職給付費用	960,000	880,000	80,000
法定福利費	2,627,057	2,485,040	142,017
福利厚生費	68,811	183,266	△ 114,455
旅費交通費	2,777,002	1,807,855	969,147
通信運搬費	127,747	89,983	37,764
減価償却費	208,112	642,087	△ 433,975
消耗什器備品費	802,040	50,000	752,040
消耗品費	569,453	314,812	254,641
書籍費	82,571	26,750	55,821
修繕費	402,267	220,677	181,590
印刷製本費	1,048,204	777,178	271,026
燃料費	239,040	624,955	△ 385,915
光熱水料費	759,000	305,000	454,000
賃借料	394,160	234,908	159,252
保険料	472,830	87,970	384,860
諸謝金	1,191,780	930,599	261,181
租税公課	1,233,900	494,000	739,900
支払負担金	434,282	414,520	19,762
委託費	6,913,676	1,108,415	5,805,261
雑費	270,813	575,782	△ 304,969
管理費	1,950,000	1,538,698	411,302
役員報酬	122,700	138,325	△ 15,625
給料手当	1,698,144	1,178,159	519,985
会議費	22,420	19,740	2,680
旅費交通費	88,900	93,175	△ 4,275
減価償却費		62,229	△ 62,229
租税公課		6,200	△ 6,200
支払利息		11,815	△ 11,815
雑費	17,836	29,055	△ 11,219
<b>経常費用計</b>	<b>42,798,576</b>	<b>31,335,909</b>	<b>11,462,667</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,458,110	△ 2,591,546	△ 866,564
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,458,110	△ 2,591,546	△ 866,564
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,458,110	△ 2,591,546	△ 866,564
一般正味財産期首残高	7,000,511	9,592,057	△ 2,591,546
一般正味財産期末残高	3,542,401	7,000,511	△ 3,458,110
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等			
受取民間助成金	1,000,000	0	1,000,000
一般正味財産への振替額	△ 555,778	△ 174,375	△ 381,403
当期指定正味財産増減額	444,222	△ 174,375	618,597
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,174,375	△ 174,375
指定正味財産期末残高	3,444,222	3,000,000	444,222
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>6,986,623</b>	<b>10,000,511</b>	<b>△ 3,013,888</b>

平成26年度正味財産増減計算書内訳表

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

公益財団法人身体教育医学研究所

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計 (A)	前年度 決算(B)	差異 (A-B)	当年度 予算(C)	遂行率 (A/C)
	公1:調査研究	公2:教育啓発	公3:情報発信	共通	小計						
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	750	△ 750		*
基本財産運用益					0		0	750	△ 750		*
特定資産運用益	0	0	0	750	750	0	750	750	0		*
特定資産運用益				750	750		750	750	0		*
事業収益	12,783,630	19,082,823	195,588	0	32,062,041	0	32,062,041	20,433,297	11,628,744	32,799,400	98%
調査研究事業収益	1,249,530				1,249,530		1,249,530	6,024,980	△ 4,775,450	1,000,000	125%
受託協力事業収益	11,532,100	12,937,280			24,469,380		24,469,380	7,729,819	16,739,561	27,022,000	91%
講師派遣事業収益		5,984,865			5,984,865		5,984,865	5,532,925	451,940	4,774,400	125%
出版物用発刊事業収益	2,000		142,068		144,068		144,068	908,016	△ 763,948	3,000	4802%
その他事業収益	0	160,678	53,520		214,198		214,198	237,557	△ 23,359		*
受取補助金等	705,778	0	0	4,550,000	5,255,778	1,950,000	7,205,778	7,168,375	37,403	6,650,000	108%
受取地方公共団体補助金				4,550,000	4,550,000	1,950,000	6,500,000	6,974,000	△ 474,000	6,500,000	100%
受取民間補助金	150,000				150,000		150,000	20,000	130,000	150,000	*
受取補助金等振替額	555,778				555,778		555,778	174,375	381,403	0	*
受取寄付金	0	41,000	0	30,000	71,000	0	71,000	1,141,000	△ 1,070,000	100,000	71%
寄付金収益		41,000		30,000	71,000		71,000	1,141,000	△ 1,070,000	100,000	71%
雑収益	0	0	0	897	897	0	897	941	△ 44	2,000	45%
利子収益				897	897	0	897	941	△ 44	2,000	45%
<b>経常収益計</b>	<b>13,489,408</b>	<b>19,123,823</b>	<b>195,588</b>	<b>4,581,647</b>	<b>37,390,466</b>	<b>1,950,000</b>	<b>39,340,466</b>	<b>28,744,363</b>	<b>10,596,103</b>	<b>39,551,400</b>	<b>99%</b>
(2) 経常費用											
事業費	16,026,385	14,905,837	4,167,505	5,748,849	40,848,576		40,848,576	29,797,211	11,051,365	44,140,911	93%
給料手当	5,336,044	8,253,119	3,386,564		16,975,727		16,975,727	15,662,581	1,313,146	16,218,000	105%
臨時雇賃金	283,884	2,006,220			2,290,104		2,290,104	1,880,833	409,271	2,600,000	88%
退職給付費用	240,000	480,000	240,000		960,000		960,000	880,000	80,000	960,000	100%
法定福利費	705,248	1,315,228	447,592	158,989	2,627,057		2,627,057	2,485,040	142,017	2,631,000	100%
福利厚生費			7,149	61,662	68,811		68,811	183,266	△ 114,455	63,000	109%
旅費交通費	1,688,064	433,942		654,996	2,777,002		2,777,002	1,807,855	969,147	2,387,000	116%
通信運搬費	7,651	13,776		106,320	127,747		127,747	89,983	37,764	91,000	140%
減価償却費	181,028			27,084	208,112		208,112	642,087	△ 433,975	193,000	108%
消耗什器備品費	23,220	770,103		8,717	802,040		802,040	50,000	752,040	1,133,000	71%
消耗品費	648	375,683	16,000	177,122	569,453		569,453	314,812	254,641	514,000	111%
書籍費		21,958		60,613	82,571		82,571	26,750	55,821	100,000	83%
修繕費				402,267	402,267		402,267	220,677	181,590	378,000	106%
印刷製本費	125,280	864,540		58,384	1,048,204		1,048,204	777,178	271,026	942,000	111%
燃料費				239,040	239,040		239,040	624,955	△ 385,915	643,000	37%
光熱水料費				759,000	759,000		759,000	305,000	454,000	306,000	248%

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計 (A)	前年度 決算(B)	差異 (A-B)	当年度 予算(C)	遂行率 (A/C)
	公1:調査研究	公2:教育啓発	公3:情報発信	共通	小計						
賃借料	400			393,760	394,160		394,160	234,908	159,252	43,000	917%
保険料	7,050	57,880		407,900	472,830		472,830	87,970	384,860	296,000	160%
諸謝金	850,240	230,170		111,370	1,191,780		1,191,780	930,599	261,181	1,325,000	90%
租税公課	11,000	1,000		1,221,900	1,233,900		1,233,900	494,000	739,900	655,000	188%
支払負担金	224,522	70,000		139,760	434,282		434,282	414,520	19,762	525,000	83%
委託費	6,175,440		70,200	668,036	6,913,676		6,913,676	1,108,415	5,805,261	6,831,000	101%
雑費	166,666	12,218		91,929	270,813		270,813	575,782	△ 304,969	596,000	45%
予備費					0		0	0	0	4,710,911	*
管理費						1,950,000	1,950,000	1,538,698	411,302	2,411,000	81%
役員報酬						122,700	122,700	138,325	△ 15,625	136,000	90%
給料手当						1,698,144	1,698,144	1,178,159	519,985	1,974,000	86%
会議費						22,420	22,420	19,740	2,680	69,000	32%
旅費交通費						88,900	88,900	93,175	△ 4,275	232,000	38%
減価償却費							0	62,229	△ 62,229		*
租税公課							0	6,200	△ 6,200		*
支払利息							0	11,815	△ 11,815		*
雑費						17,836	17,836	29,055	△ 11,219		*
<b>経常費用計</b>	<b>16,026,385</b>	<b>14,905,837</b>	<b>4,167,505</b>	<b>5,748,849</b>	<b>40,848,576</b>	<b>1,950,000</b>	<b>42,798,576</b>	<b>31,335,909</b>	<b>11,462,667</b>	<b>46,551,911</b>	<b>92%</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,536,977	4,217,986	△ 3,971,917	△ 1,167,202	△ 3,458,110	0	△ 3,458,110	△ 2,591,546	△ 866,564	△ 7,000,511	49%
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
当期経常増減額	△ 2,536,977	4,217,986	△ 3,971,917	△ 1,167,202	△ 3,458,110	0	△ 3,458,110	△ 2,591,546	△ 866,564	△ 7,000,511	49%
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
(2) 経常外費用											
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
当期一般正味財産増減額	△ 2,536,977	4,217,986	△ 3,971,917	△ 1,167,202	△ 3,458,110	0	△ 3,458,110	0	△ 3,458,110	△ 7,000,511	49%
一般正味財産期首残高							7,000,511	9,592,057	△ 2,591,546	7,000,511	100%
一般正味財産期末残高							3,542,401	7,000,511	△ 3,458,110	0	*
II 指定正味財産増減の部											
受取補助金等											
受取民間助成金	1,000,000				1,000,000		1,000,000	1,000,000	0	0	*
一般正味財産への振替額	△ 555,778				△ 555,778		△ 555,778	△ 174,375	△ 381,403	0	*
当期指定正味財産増減額	444,222	0	0	0	444,222	0	444,222	△ 174,375	618,597	0	*
指定正味財産期首残高					0		3,000,000	3,174,375	△ 174,375	3,000,000	100%
指定正味財産期末残高	444,222				444,222		3,444,222	3,000,000	444,222	3,000,000	115%
III 正味財産期末残高					0		6,986,623	10,000,511	△ 3,013,888	3,000,000	233%

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
定額法を採用している。
- (2) 消費税等の会計処理  
税込方式により行っている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	3,000,000	0
小 計	3,000,000	0	3,000,000	0
特定資産				
公益目的事業積立資金	0	3,000,000	0	3,000,000
小 計	0	3,000,000	0	3,000,000
合 計	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000

### 3. 特定資産の内訳

特定資産の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)
特定資産		
公益目的事業積立資金	3,000,000	(3,000,000)
合 計	3,000,000	(3,000,000)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,309,800	1,309,799	1
什器備品	1,750,011	952,878	797,133
ソフトウェア	324,000	16,200	307,800
権利	512,274	307,362	204,912
合 計	3,896,085	2,586,239	1,309,846

### 5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	2,877,915		2,877,915
合 計	2,877,915	0	2,877,915

### 6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
情報発信事業補助金	東御市	0	6,500,000	6,500,000	0	—
障がい児者運動実施支援事業補助金	社会福祉法人 東御市社会福祉協議会	0	150,000	150,000	0	—
助成金						
国内共同研究助成金	公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団	0	1,000,000	555,778	444,222	指定正味財産
合 計		0	7,650,000	7,205,778	444,222	

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表に対する注記2に記載しており、内容の記載を省略する。

# 財 産 目 録

平成27年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
<b>【流動資産】</b>			
預金	普通預金 八十二銀行田中支店	運転資金として	594,614
	普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	運転資金として	2,215,557
		<預金計>	2,810,171
未収金	東御市他	事業収益等未収分	2,877,915
		<未収金計>	2,877,915
流動資産合計			5,688,086
<b>【固定資産】</b>			
特定資産	公益目的事業 積立資金	定期預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	公益目的事業の積立資金である。
			3,000,000
		<特定資産合計>	3,000,000
その他 固定資産	車両運搬具	車両1台	公益目的保有財産であり、各事業及び管理 業務で使用している共有財産である。
	什器備品	パソコン2台	共有財産でありため、使用割合により、 下記のとおり按分している。
			1
			2
		50%(期末帳簿価額1円)は、公益目的 事業に使用している。	
		50%(期末帳簿価額1円)は、管理業務に使用 している。	
	サーバーシステム整備他	公益目的保有財産であり、各事業及び管理 業務で使用している共有財産である。	797,131
	ソフトウェア	SPSSソフト	公益目的保有財産である。
			307,800
	権利	商標登録	公益目的保有財産である。
			204,912
		<その他固定資産合計 >	1,309,846
固定資産合計			4,309,846
資産合計			9,997,932
<b>【流動負債】</b>			
未払金	(福)みまき福祉会他	事業費等未払分	2,700,505
預り金	役職員他	源泉所得税等	310,804
流動負債合計			3,011,309
負債合計			3,011,309
正味財産			6,986,623

# 監査報告書

公益財団法人身体教育医学研究所

代表理事 田丸 基廣 様

平成 27 年 5 月 20 日

公益財団法人身体教育医学研究所

監事

竹内春彦

監事

柳澤旨賢

私たち監事は、平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からのその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。その方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

平成 27 年 5 月 21 日

公益財団法人身体教育医学研究所  
代表理事 田丸基廣様

公益財団法人身体教育医学研究所  
監事 竹内春彦  
監事 柳澤旨賢

公益財団法人身体教育医学研究所平成 26 年度決算監査の  
顛末と監査意見について（報告）

公益財団法人身体教育医学研究所定款第 9 条、第 25 条の規定により、みだしの監査を平成 27 年 5 月 20 日に実施しました。

その顛末と意見について次のとおり報告いたします。

記

1、総括意見

平成 23 年 3 月 22 日付で公益財団法人に認定されて 4 年度を終了しました。定款第 3 条に規定する目的を実現するため公益財団法人に相応しい執行体制の確立や事業運営、公益財団法人に求められている会計体系のシステム化に当られて逐次実績を挙げられ、草創期の諸課題はほぼ達せられたものと思料します。

今後は次の事柄に配慮し定款第 4 条に規定する事業を展開するよう希望します。

(1) 事業実績について

公益認定に伴う公益目的事業の実績は平成 25 年度実績を超えており積極的に対応された跡が窺え、関係された各位に対してその労を多とします。

第 1 期中期計画最終年度を迎えた 27 年度には次期中期計画樹立のための諸準備に万全を期されることを望みます。

(2) 決算実績について

経常収益から経常費用を差引いた当期経常損益は 3,458,110 円の収益不足で、前年度の収益不足 2,591,546 円に比べて 866,564 円不足額が上回り、公益財団法人に求められている収益・費用相償の原則に照らして恒常的な課題が内在している上、当年度の収益不足 3,458,110 円については過年度損益差額留保金より補填した決算実態にあり、27 年度以降の過年度損益差額留保金（基本財産 300 万円を除く）は 3,986,623 円に縮小し枯渇も懸念されて、収支の均衡と財務構造の充実は喫緊の課題となっています。

従って次のことについてはより具体的に手当されその実現を図られることを要望します。

ア、短期的な視点→しんたい応援寄附金の公募について幅広く取組み単年度収支の改善を図る

イ、中期的な視点→特定資産の増強について関係当局と調整してその実現を図る

## 2、「しんたい」の成長、充実、安定期を目指して公共政策の展開と実現

公益財団法人を設立後5年目、次期中期計画樹立の基礎年度といった節目の時期を迎えています。かかる時「先見は発想を生み」「叡智は業績を向上させ」「努力は栄光をもたらす」の基本理念の本で、次に掲げる諸項目について吟味されて諸施策に反映され、その実現を図られることを期待します。

(1) シンクタンクらしい「持ち味」に加え「しんたい」ならではの「彩り」と「風味」が生まれる体制作り。例えば

ア、研究所の主体性（受託事業に重点か、独自の研究分野は）の確立

イ、出資者の下請け機関化しない調整

ウ、所長・所員の裁量等の整然化（定員、処遇の水準、研究の権限委譲、研究開発費、他研究機関との情報調査費の確保、烏合の衆化や人事の調整弁の排除）

エ、研究着手・成果の関連性の目線の統一（受託時の事業内容審査、委託者の丸投げ排除、成果のマニュアル化、成果の保存と共有、知的財産権確保等々）

オ、異文化等とのコラボの追求・可能性への挑戦対応（農村の歳時記・衣食住等）

(2) 「研究成果」「知らせる」「教える」「続ける」「広める」「評価」の体制作り。例えば

ア、続けるため知識集団から強力な智恵集団に向けての体制へ

（夢先案内人（研究所）に呼応した地域仕掛け人・呼掛け人等「しんたい応援隊組織」の必要性→ボランティア・寄附行為等への誘い等）

イ、研究所だより（季報・年報）発行の必要性

（特に市民向け・自らの透明性・市内の地域均衡等）

ウ、しんたいの存在力アップ戦略

しんたい学会に加え、市広報の活用・紙面の充実、定期的な公開講座の開催、他団体との共催・協力フォーラム・シンポジウムの開催

（時間配分、場所、研究成果の発表の在り方→シンクタンクらしい内容として自らの研究成果に重点を置くか、実践者の目線での課題提起か）

エ、人脈の拡充と組織化、著作権等知的財産の保護対策、情報ライブラリーのシステム化の実現

オ、研究学会分野に対する「しんたい」の貢献方策の在り方研究

(3) リスク管理に対する認識と実践

ア、各事業における安全管理配慮義務への留意

イ、機敏な対応に対する補償制度（職員自家用車公務使用の借上げ制度と費用弁償のルール化の必要性）